



小樽商科大学

# 学園たより

特集

平成25年度学生生活実態調査  
対北大総合定期戦100周年



## CONTENTS

平成25年度学生生活実態調査	1
学生サービスの窓口が変わります	3
掲示板をリニューアルしました	3
就活スケジュールが大きく変わります	4

対北大総合定期戦100周年	5
「誓いの碑」について	7
緑丘戦没者記念塔について	7

■表紙について

今回は対北大総合定期戦100周年の特集記事にあわせ、今年度の商大・北大応援団対面式を表紙にしました。写真を提供していただいた大津珠子様、またご協力をいただいた応援団OBの皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

(題字は 和田健夫 学長)





# 平成25年度 学生生活実態調査

～ 学生生活実態調査から見えてきた商大生～

本学では3年に一度、学生の福利厚生充実及び就学環境の改善を図り学生のニーズに応えるための基礎資料を得ることを目的として「学生生活実態調査」を行っています。平成25年10月に行った本調査には、学部学生2,274人中1,681人の回答を得ました(回答率73.9%)。改めて協力に感謝します。報告書は本学ホームページに掲載していますので、調査結果の詳細はそちらをご覧ください。今回は調査結果から見えてきた商大生の姿の一端と調査結果・自由意見を踏まえた本学の取り組みについて報告します。

調査報告書 <http://www.otaru-uc.ac.jp/campus/seikatujoho/seikatuchousa/25pdf.html>

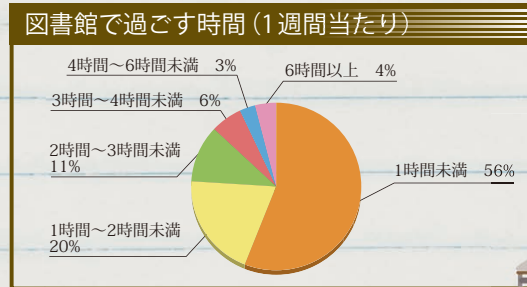
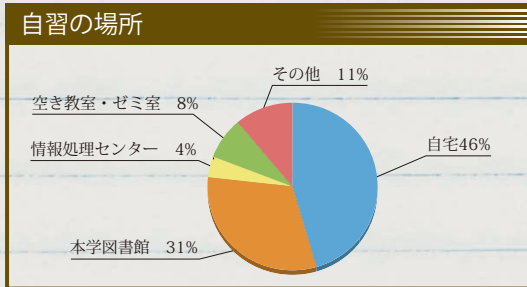
## 商大生の姿

### 1 学習状況について

#### (1) 自習の場所、図書館で過ごす時間

自習の場所は、自宅(46%)と図書館(31%)が多くなっています。また、1週間のうち図書館で過ごす時間は、1時間未満が56%、1時間～2時間未満が20%となっています。図書館の利用時間がそれほど長くないのは、改修前だったためと思われます。

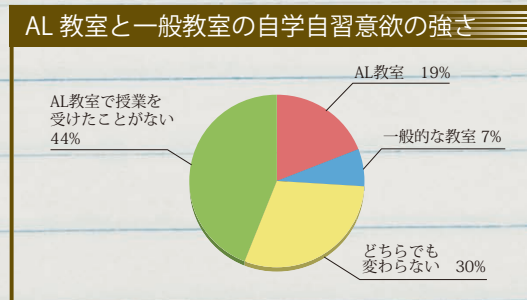
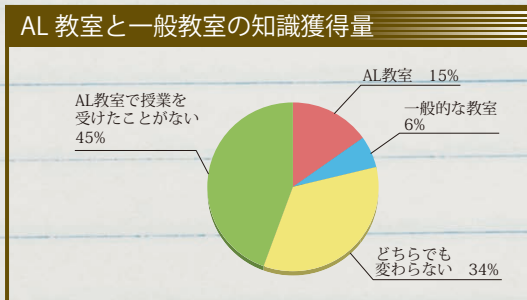
図書館はラーニング・コモンズ(学習のための共有空間)というコンセプトに基づき平成26年2月にリニューアルし、「滞在型の学生の主体的な学びの拠点」として、多様な学びのスタイルに対応した快適なスペースを提供しています。すでに多くの学生が利用しており、図書館の利用時間は格段に増加しています。学生諸君には大いに活用してほしいと願っています。



#### (2) アクティブラーニング(AL)教室と一般教室との比較

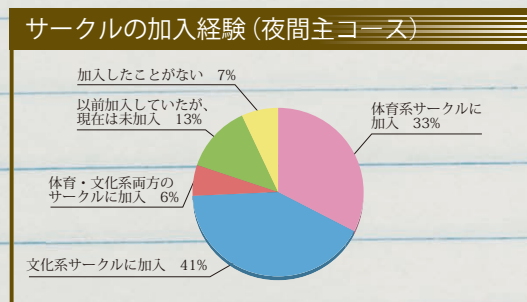
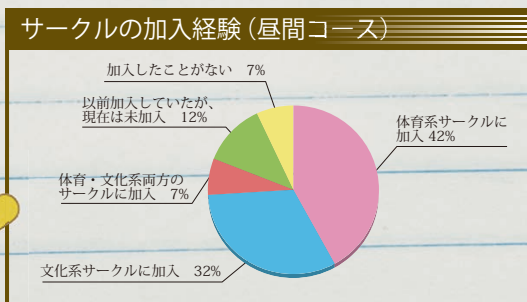
知識獲得量、自学自習意欲の強さは、ともにAL教室の方が高いことがわかりました。

本学では次世代の実学教育に向け、全国に先駆けてICT機器を備えたアクティブラーニング教室を整備し、学生の「能動的な」参加を取り入れた新たな形態の授業を展開しています。ALの他にも、最新のニュース映像や音楽等のデジタル素材や大学間の双方向通信による授業を行うことを組み合わせた実践型 Blended(ブレンディッド=ブレンド型)ラーニングによる授業を語学クラスに取り入れるなど、多彩な授業を行います。



### 2 課外活動について

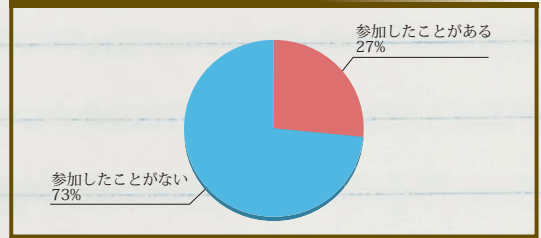
本学はサークル活動が活発で、加入率は全国でも屈指の高さであることが知られています。加入経験のある学生は昼間コース・夜間主コースともに90%を超えており、前回・前々回調査と比較しても割合は高くなっています。加入の理由は、「活動内容に興味があった」、「友人を得るため」、「学生生活を豊かにするため」が高くなっています。1週間の活動時間は5時間未満が多いですが、20時間を超える学生もいます。1か月の活動費用(コンバ代込み)は「3千円未満」が半数を超えることがわかりました。課外活動は正課と同様に人格の形成に大きな意味を持ちます。大いに(ただし学業をないがしろにしない程度に)力を注いでほしいと思います。



### 3 ボランティア活動について

参加したことがある学生は27%でした。初めての調査項目のため過去との比較はできませんが、東日本大震災の影響はもちろん、総合科目やサークル活動における地域活性化の取り組みが根付いてきており、ボランティア意識の高まりは間違いなくあるものと思われます。ボランティアの内容は、地域協力（イベント協力等）、幼児・小中高生の学習・スポーツ指導、災害地での支援活動など様々です。

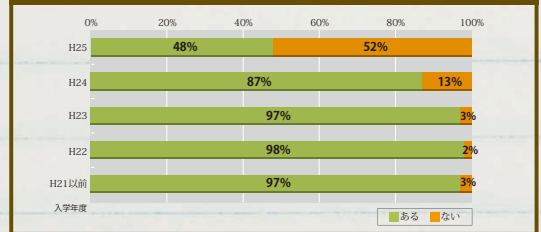
ボランティア活動の経験



### 4 飲酒について

調査時点で大多数が未成年である平成25年度入学者の約半数が飲酒経験のあることが分かりました。心身ともに未成熟な時期に飲酒することは脳が萎縮したり、性機能の正常な発達を妨げるなど様々なリスクが伴いますので、絶対にやめてください。また、飲酒できる年齢になっても訓練で酒に強くなることはありません。アルコールパッチテストを受けて自分の体質をよく知って、悲しい事故を自分自身で防いでください。

飲酒経験の有無



お酒は20歳になってから！  
節度を持った飲酒を！

## 自由意見を踏まえた大学の取り組みとメッセージ

大学として、できることとできないこと、その理由をお答えします。  
(紙面の都合上、報告書に掲載した内容については割愛しています。)

#### ○情報処理室のパソコンの起動が遅い件

情報処理室に設置しているPCは一般的なPCと起動方法、運用方法が異なり、起動に時間を要します。起動時間を短縮するためにサーバとパソコン間のネットワーク回線の増速化を昨年行いました。このことにより起動時間が若干改善されました。平成28年2月にシステム更新を予定しており、情報処理室の環境の改善について検討中です。

#### ○コピー機を一元化してほしい

情報処理センターでプリンターを利用するには生協で販売しているプリペイドカードが必要です。また、コピー機を利用するためのカードも生協で販売しており、それを一元化してほしいという要望と思います。現在は課金システムが異なるため、共通化はできませんが、ICカードを利用して共通利用が可能か検討しています。

#### ○大学からの情報提供について

ホームページや携帯メール等で連絡事項を周知してほしいとの意見がありました。休講情報は既にインターネット上で提供していますが、他の情報についてはシステム・経費の面で検討には時間を要します。掲示については7月にデジタルサイネージを導入し、掲示場所も集中させました。これにより、情報の見易さ、迷わず情報にたどり着けるという点で改善につながったものと思います。また、キャンパススクエアについては、今年度中に学外のPCからも閲覧可能とする計画です。詳細が決まりましたら掲示等でお知らせします。

#### ○健康診断の期間をもう少し延ばしてほしい

現在、健康診断の日程は土曜日を含む3日間とも健診項目すべての検査を実施し、学生は受診を一日で終わることができません。全体の受診人数から考えると十分に対応できると考えています。受診率が最も低いのは2年生ですが、2年生が受診しない理由は日程の問題ではなさそうです。また、就活している学生にとっては、受診できる日はまちまちで、全員にとって都合の良い設定をするのは不可能です。以上のことから、健康診断の日程を延長することは困難です。学生の皆さんは早めに健康診断受診のための予定を確保してください。





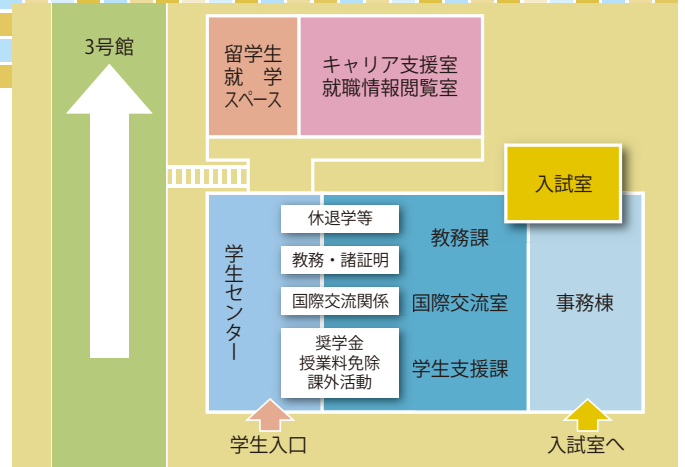


## 学生サービスの窓口が変わります

もっと  
使いやすく!

10月から学生サービスの窓口が変わります。

学務課が教務課と学生支援課に分かれ、キャリア支援センターと国際交流センターの機能を学生センターに集約して、学生の皆さんが利用・相談しやすいかたちにします。大学はこれからも学生サービスの向上に努めます。その一方で、学生には、「まずはシラバスや掲示を見るなどして自分で調べて、それでも分からない時は窓口に行く」という姿勢を持ってほしいと思います。



7月に掲示板をリニューアルしました。

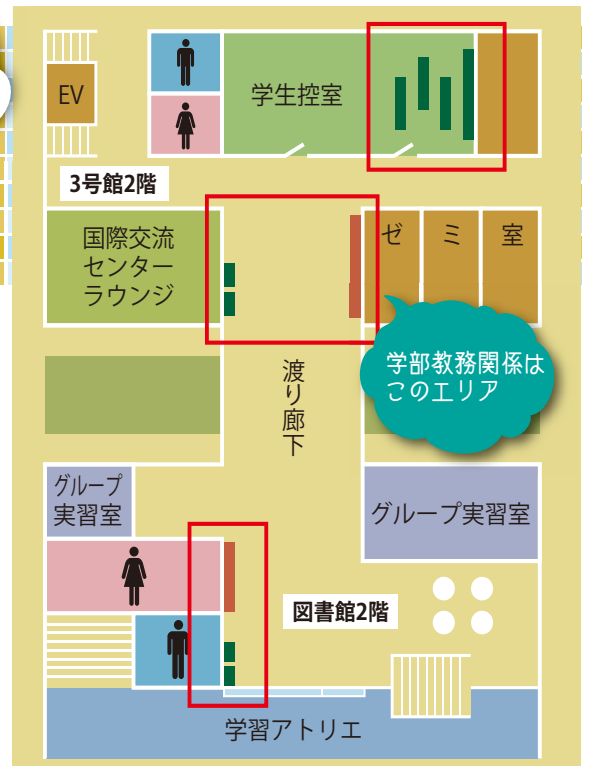
デジタルサイネージ（電子掲示板）を導入し、大学からの情報に関する掲示板を次の3か所に集約し、情報を探しやすくしました。

- ① 図書館2階
- ② 国際交流センターラウンジ前
- ③ 学生控室

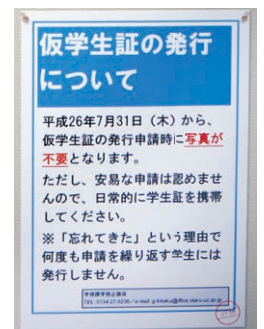
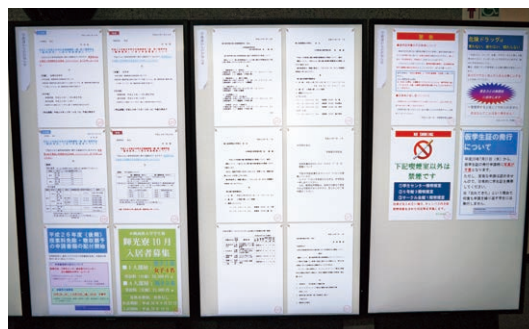
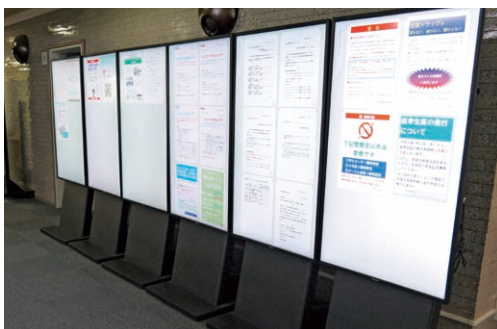
一つの情報について、デジタルサイネージまたは紙用掲示板のいずれかで通知しますので、登下校時には3か所の掲示板を全てチェックしてください。これに伴い、講義棟・大学会館内の掲示板は一部を除き全て学生用にしましたので、活用してください。掲示するためには、事前に「学内掲示等届」と「掲示物」（縮小コピー可）を学生センターに提出してください。

もっと  
見やすく!

## 掲示板をリニューアルしました



■ デジタルサイネージ ■ 紙掲示板



# 2016年卒業予定者から

(現在の学部3年、修士1年)

## 就活スケジュールが大きく変わります

経団連の定めた「採用選考に関する企業の倫理憲章」の見直しにより2016年3月卒業予定者(現在の学部3年、修士1年)より、企業の採用情報や説明会情報が今より3か月遅い、3月からの解禁となり、面接等の選考活動も4年目の8月スタートになります。

### 就活スケジュール

	学部3年、修士1年				学部4年、修士2年								
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
現在	解禁 会社説明会の開始				面接・試験の開始								内定
変更後					解禁 会社説明会の開始				面接・試験の開始				内定

### 平成26年度 就職支援スケジュール

月	日	事項
2014 7	16	第1回就職ガイダンス
10	1	第2回就職ガイダンス
	8	留学生対象就職ガイダンス 留学生対象グループ相談
	15	緑丘企画講座① 「業界研究」「一般常識テスト」
	22	緑丘企画講座② 「自己分析講座」「グループワーク体験講座1」
	29	緑丘企画講座③ 「ES対策講座」「グループワーク体験講座2」
11	12	緑丘企画講座④ 「面接対策講座(前編)」「面接対策講座(後編)」
	26	緑丘企画講座⑤ 「新聞就活講座(前編)」
12	3	緑丘企画講座⑥ 「新聞就活講座(後編)」
	10	業界研究セミナー 又は 就職支援セミナー期間開始(～2/28)
3	17	緑丘企画講座⑦ 「就活体験報告」「身だしなみ講座」「東京就活体験会(予告)」
	18	緑丘企画講座⑧ 東京就活体験会 及び 緑丘企業等セミナーガイダンス 「就活マナー講座」「就活直前対策講座」
3	2	キャリア形成支援のための東京就活体験会(～3/3)
	6	キャリア形成支援のための緑丘企業等セミナー開始(～4/29)
5～8	(予定)	札幌サテライト「臨時就職支援室」開室 及び 東京緑丘会館「東京就活支援室」開室

※東京就活体験会並びに緑丘企業等セミナーは、昨年まで12月から開催していました。

### 2016年3月卒の 大まかな就活スケジュール

- 3月～ 就職情報サイトなどでエントリーの開始、会社説明会・会社訪問の開始
- 5月～ エントリーシート提出、選考(適性検査・筆記試験)
- 8月～ 内々定
- 10月～ 内定

※上記スケジュールはあくまで目安です。

企業の採用活動が3か月後ろ倒しになりますが、3月からの就職活動に備えて自己分析や業界研究などしっかり準備しておきましょう。



キャリア支援課では、企業の採用活動にとらわれず、皆さんに余裕をもった就職活動をしていただくため、「就職ガイダンスや業界研究、自己分析、ES対策」などの各種企画講座を昨年と変わらない日程で実施します。



現在も北大との定期戦を行っている  
体育会所属団体



硬式庭球部  
創部 明治44年(1911年)



剣道部  
創部 明治44年(1911年)



硬式野球部  
創部 明治44年(1911年)



応援団  
創部 明治45年(1912年)



漕艇部  
創部 昭和12年(1937年)\*

# 祝 100周年！ 対北大総合定期戦

小樽商科大学と北海道大学では、昔から互いの運動部サークルがしのぎを削って戦い合う、対抗試合が行われてきました。それが対北大総合定期戦です。そんな総合定期戦もなんと、今年で記念すべき100周年を迎えることになりました。6月22日に開催された対面式では、北海道大学と我々小樽商科大学の応援団による盛大な応援合戦も相俟って、今まで以上に気合の入った一大イベントとなりました。

この100年もの間繰り返されてきた対北大総合定期戦ですが、そこにはどんな歴史が隠されているのでしょうか？小樽商科大学の歴史、ひいては我々が応援団と北海道大学との関わりを無くしては語れない、そんな対北大総合定期戦の歴史を学んでみましょう。

## 対北大総合定期戦とその歴史

### ○定期戦の起源

時は1911年、小樽商科大学が「小樽高等商業学校」と呼ばれていた時代です。当時、北海道大学は「札幌農学校」として存在していました。大学という存在自体が珍しかった時代、この二つの大学が互いを意識するのは必然的なことでした。1912年5月20日に、小樽高等商業学校と札幌農学校で硬式野球部を筆頭として、様々な運動部で対抗試合を開催することに決まったのです。この対抗試合は「対農大定期戦」と呼ばれていました。これが今の対北大総合定期戦の起源となるのです。

この1912年に初めて行われた北大との野球部対抗試合で、初めて両大学による応援合戦が行われたという記録が残っています。商大の応援団はこの野球戦の応援合戦がきっかけとなって発足したと推測され、当時の熱い意志のこもった応援は今も脈々と受け継がれています。



野球部メンバー (卒業アルバム1932)



北大予科戦 壮行式 (卒業アルバム1935)



ヨット部  
創部 昭和16年(1941年)



軟式庭球部  
創部 昭和28年(1953年)



娯楽の少ない当時では、この二つの大学の対抗試合は多くの小樽市、札幌市、両市民の目を引きつけました。1918年に小樽花園公園で行われた野球戦では、一万人以上の観客が押し寄せてきたと言われています。しかし、人々を熱狂させたこの定期戦も、戦争の影響で中断を余儀なくされます。

○対面式の誕生

終戦後の1946年、中断していた対北大定期戦がようやく復活を果たします。この時から始まったとされるのが、商大と北大の応援団が魂をこめ、その意気込みをふっけ合う一大イベント、**対面式**です。そこで行われる挑戦状、応戦状の読み上げ、校歌斉唱などは、まさに両大学の真剣勝負。また、同時にユーモラスな檄文や踊り、そして野次合戦は多くの学生や市民を賑わせました。ですが、そんな応援団一世一代のイベントともいえる対面式も、商大応援団人員不足の為に平成9年に中断してしまうことになります。

その後、この対面式を何とかして復活させようと尽力した有志たちの手によって、平成21年4月3日、小樽商科大学入学式において「模擬対面式」が行われました。この催しでは商大応援団OBと現役北大応援団が、太鼓、演舞などを披露し、新入生に向けて応援団の存在、そして対北大総合定期戦という伝統行事の存在をこれでもかというほどにアピールすることに成功しました。

そして、平成21年6月28日。12年ぶりに対面式が復活を遂げました。在校生だけでなく、多数のOBや小樽市民が見守る中、両大学の盛大な応援合戦が繰り広げられました。

これからの対北大総合定期戦

対北大総合定期戦は深い伝統と歴史と共に100周年を迎えました。今でこそ部活ごとの一団体としての定期戦という形ですが、商大対北大という、かつて行われていた大学が一丸となった対北大総合定期戦が復活する時も近いかもしれません。その為にも、受け継がれてきたこの伝統を忘れることなく、私達学生が大切に守っていく必要があるのではないのでしょうか。

(学生編集員：藤本拓也)

※創部年について

各団体の創部年は、大学史と異なる場合がありますのでご了承ください。  
 漕艇部：『校友会雑誌』創刊号(1913年発行)に明治44年12月の校友会発会式の時に漕艇部他から創立委員が選出されたとの記載あり。  
 水泳部：『小樽商科大学史：開学六十五年』p.633の大正13年度に「水泳部、七月部の発会式を挙行、参加者百余名。」との記載あり。  
 バドミントン部：創部年不明。ただし、『緑丘新聞251号(昭和28年9月30日)』に「初出場にて優勝：全道バドミントン大会」という記事あり。



弓道部  
創部 大正3年(1914年)



ラグビー部  
創部 大正14年(1925年)



卓球部  
創部 昭和4年(1929年)



男子バスケットボール部  
創部 昭和9年(1934年)



北大予科戦 狂喜乱舞(卒業アルバム1935)



ラグビー部(卒業アルバム1927)



準硬式野球部  
創部 昭和28年(1953年)



バドミントン部  
創部 昭和28年(1953年)\*



水泳部  
創部 昭和36年(1961年)\*

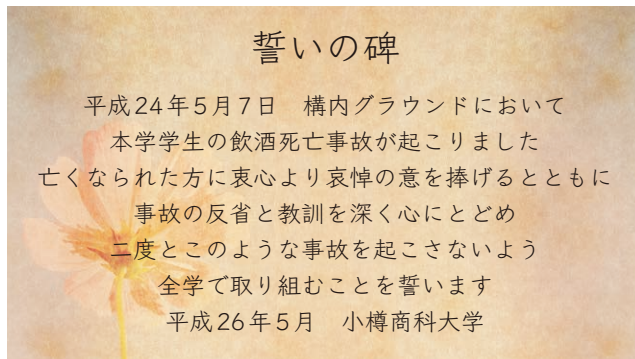


# 「誓いの碑」について

皆さんは体育館前に「誓いの碑」があるのを知っていますか？  
 平成24年5月7日、アメフト部が構内のグラウンドで行ったバーベキューパーティーで9人もの学生（うち未成年者7名）が救急搬送されるという飲酒事故が発生し、19歳の1年生男子学生が急性アルコール中毒により同月24日に亡くなりました。学生は希望に燃えて本学に入学し、打ち込めるサークルを見つけた矢先にこの痛ましい事故で亡くなりました。このような事故を二度と繰り返さないため、また、この事故を永遠に風化させないために、事故から2年経った今年5月に「誓いの碑」を建立し、追悼式を行いました。この誓いは、一部の誰かの誓いではありません。本学構成員全員の誓いです。時には碑の前に立って目を閉じ、どう行動すべきか自分に問いかけてください。



本学では毎年5月に追悼式を行います。



# 緑丘戦没者記念塔について

昭和42年8月15日（終戦記念日）、当時の本学教授松尾正路氏が、昭和17年、18年卒業の札幌在住の有志に対し、緑丘戦没者を慰霊するため、何か記念になるものを母校につくりたいので力を貸してほしいと呼びかけました。

同教授は、太平洋戦争末期から終戦後にかけて、学生の就職等何かと学生と接することが多かった方でしたが、終戦後、北海道放送で小樽商科大学関係戦没者の状況を放送することになり、取材協力のため当時の状況、遺族の方々の近況の調査にあたられました。その頃より、同教授は、若くして世を去った同窓生の霊を慰めるため、構内に慰霊塔を建立したいと発願するに至り、同窓会、同期会など機会を捉えて同窓生に呼びかけていました。この呼びかけに、昭和16年～19年卒の有志が応えて立ち、協議の結果、緑丘会（本学同窓会）全体の事業として行うことになり、募金の実施、建立作業推進のための組織が編成されました。

以来2か年間、一方では建立費用調達のための募金の推進に、又一方ではこの種の構造物を校内に建設することに対する文部省等の意向等を確認しつつ、全国の緑丘会員の意見を調査して塔の型式を決定しました。募金も目標の500万円を突破するに至って、ようやく44年4月下旬、残雪消えやらぬ緑丘敷地内東南の高台に着工するに至りました。

着工に当たっては、般若心経一巻が書き込まれた綺麗な小石が、基礎のコンクリートと共に打ち込まれました。

塔内部に緑丘戦没者321柱の銘を刻み、8月15日、除幕式を挙行することとなりました。参列した同窓生・遺族たちは、2年がかりでようやく実現した記念塔の完成を喜び合うとともに、「この痛ましい悲劇を二度と繰り返しません」と誓い合いました。



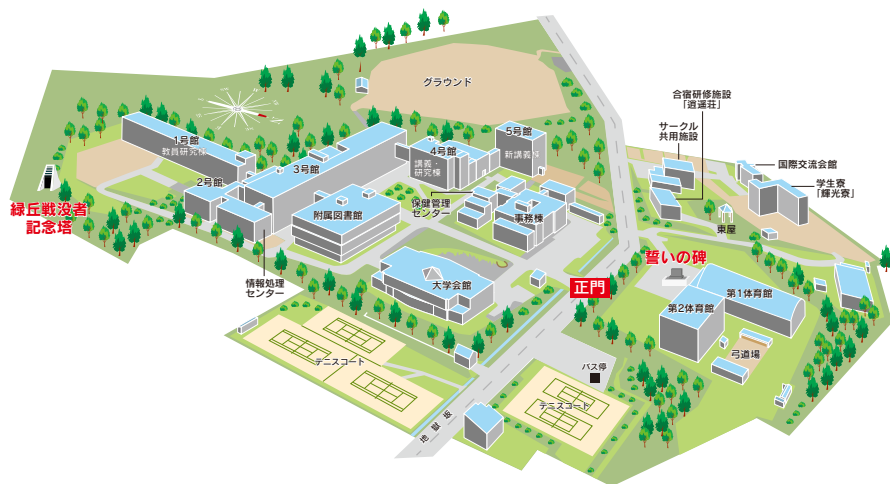
港を望むキャンパスの一隅に、戦没者記念塔は白樺林に囲まれてひっそりと建っています。

昭和44年に建立されたこの記念塔には、当初、321人の氏名が墓石に刻まれていましたが、その後戦死が明らかになった学生の氏名が追加して刻まれ、現在は347人の学生・教員の御霊がここに眠っています。

毎年8月15日の終戦記念日に、この記念塔にご遺族、同窓生、大学関係者が集まり、若くして亡くなった学生、教員の霊を慰め、平和への誓いを新たにしています。

戦没者を慰霊するものとしては、国立大学のキャンパス内にあるのは非常に珍しく、塔としては唯一のものであります。

また、墓石には、中曽根元首相のご令弟の名も刻まれており、中曽根元首相もお参りに来学されたことがあります。



## 編集後記

今号では、新しい碑（誓いの碑）と古い碑（緑丘戦没者記念塔）をご紹介しました。どちらの碑を見ても命の尊さを感じずにはられません。また、対北大総合定期戦100周年に思いを馳せると若人の熱き血潮が脈々と受け継がれていることに感銘を受けます。学生の皆さんは、今人生の中で大変貴重な時を過ごしているのです。どうぞそのことを忘れないでください。（学生支援課）

小樽商大の新鮮な情報を毎日発信！

ブログ「商大くんがいく！」



商大若手職員と学生がタッグを組んで作っている「商大くんが行く」ブログでは、商大生の活躍はもちろん学内の様々な旬なトピックスがご覧になれます

<http://www.otaru-uc.ac.jp/shoudai-kun/>